

本編

第1章 業務目的等

1. 業務目的等

1.1. 業務目的

北陸圏における真に暮らしやすい接続型都市圏の形成の推進調査検討業務(以下「本業務」という。)は、北陸圏広域地方計画(案)に位置づけられている「子育て支援の充実及び女性・高齢者や団塊世代をはじめとした誰もが暮らしやすい生活環境の形成」及び「都市と農山漁村が共生する持続可能な接続型都市圏の形成」の具体化を図り、自立的・持続的な地域づくりにむけて「人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一」という北陸圏の将来像の実現方策を検討するものである。

1.2. 業務項目

本業務では、北陸圏広域地方計画の将来像としている「人々をひきつける『暮らしやすさ』日本一において、北陸圏の地域づくりの方向性として提示された基本的施策「誰もが暮らしやすい生活環境の形成」、「都市と農山漁村が共生する持続可能な接続型都市圏の形成」に対して、北陸圏の地域特性を活かした具体的な実現可能策を検討する。そのため、以下の検討項目を設定し、調査検討を進める。なお、検討にあたっては、有識者、経済界及び行政からなる調査検討委員会を組織し、検討を行うものとする。

- ・ 関連計画・既往調査の整理
- ・ 北陸圏の地域特性の把握
- ・ 誰もが暮らしやすい生活環境の形成の検討
- ・ 都市と農山漁村が共生する持続可能な接続型都市圏の形成の検討
- ・ 今後の展開方針
- ・ 調査検討委員会

なお、本業務は、以下に示すフローに基づき実施する。

1.3. 業務の流れ

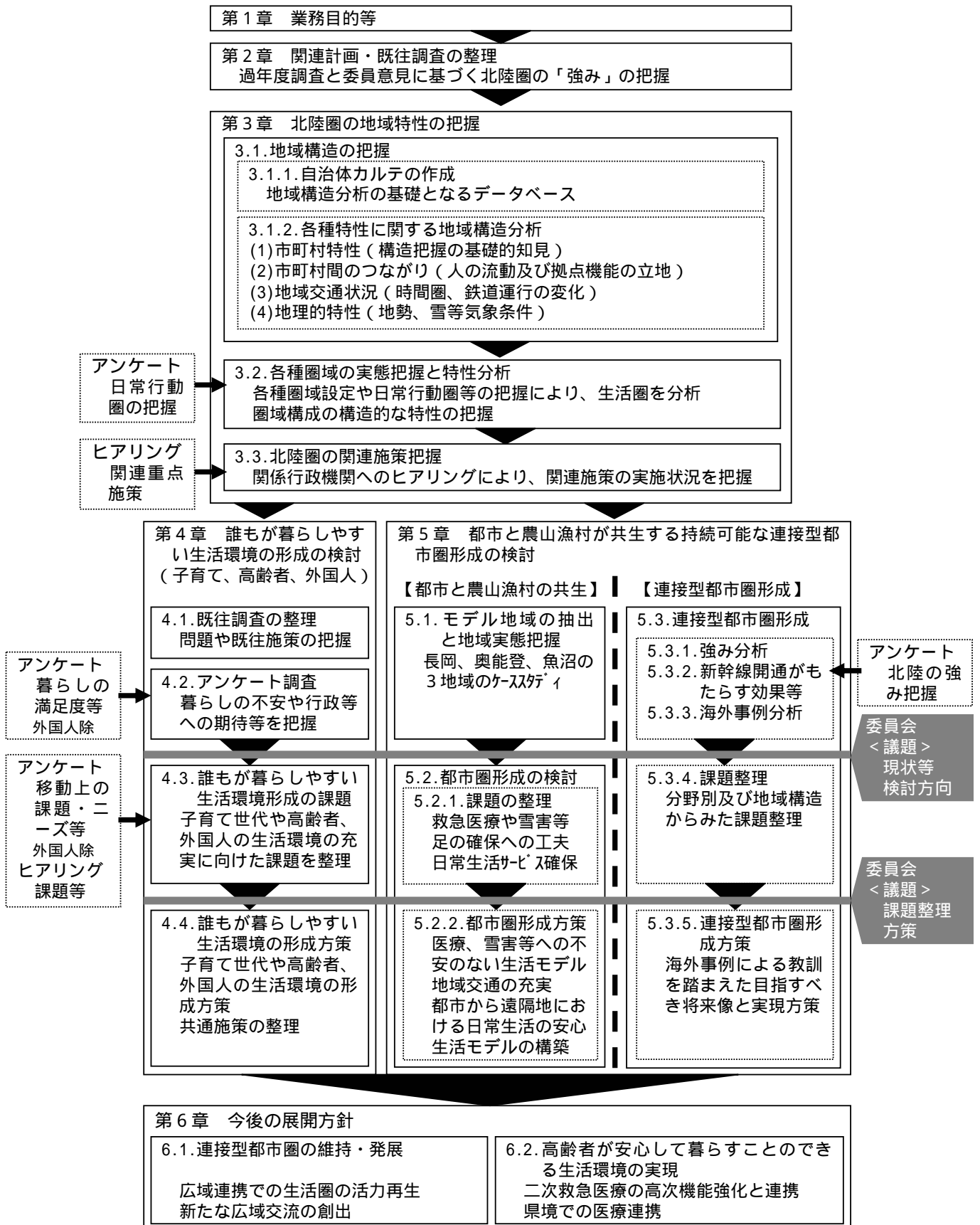


図 1-1 検討フロー